2008－09年度
RI会長主催
会員増強セミナー開催

講演する李東建RI会長

1200人のロータリアン

Governor's Monthly Letter

ガバナー月信

2008－09年度　国際ロータリー第2770地区

〒330-0063
さいたま市浦和区高砂1－2－1－116
エイペックスタワー東館1階
ＴＥＬ：048・827・0022
ＦＡＸ：048・827・0011
E-mail：ri2770iwabuchi@plum.plala.or.jp

夢をかたちに

2008.8　Vol.2

Governor Message

8月は会員増強月間
－ストップ the 会員減少－

ガバナー　岩渕　均

8月は会員増強月間です。７月7日に李RI会長主催の会員増強セミナーが開催されました。会長・幹事を始めとする総勢1200人という大勢の方にご参加いただきました。李会長のスピーチを次ページに紹介します。

残念ながら当地区では7月1日現在、昨年の会員数を下回っております（暫定集計）。全員が会員増強委員の気持ちになって増強に努め、今年こそ「**ストップ the 会員減少**」を実現しましょう。

セミナーでは、会員増強に実績を上げた6クラブよりそれぞれの方策を発表されましたが、その中から一つだけ発表要旨をご紹介致します。

「名古屋東南RCは最盛期100人のクラブだったが、会員が減少し一時67人にまでになってしまった。100人体勢の復活を目指して『プロジェクト100』を立ち上げた。会員候補として相応しい方を探して、クラブ例会に招待する。例会では、クラブの中でロータリー情報に詳しい方、事業家として実績を上げている方、人徳のある方などクラブを代表する方を周囲に座らせる。例会中は絶対に勧誘をせず、例会終了後も１週間くらいはこちらからはコンタクトを取らない。10日もすると、先方は「何か連絡が来ると思っていたのに何の連絡も来ない。いつロータリーから連絡があるのだろうか」とロータリーからのコンタクトを待ち焦がれるようになる。その頃連絡をとり、ロータリアンであることの素晴らしさを訴える。するとかなりの確率で勧誘に成功する。こうして会員数93人となり、100人体勢に手が届くところまで来た」

また、大阪ネクストRCからもクラブの紹介がありました。かながわ湘南RCと同様R財団学友を中心としたクラブです。当地区でも本年度の重要課題です。現在、R財団奨学学友委員会が中心となり、新クラブ創立の核となる学友を選定しているところです。

合言葉は「**ストップ the 会員減少**」です。皆様のご協力をお願い申し上げます。

RI会長主催会員増強セミナー（基調講演）

李　東建　RI会長

会員増強を主題とする第一回の会長会議をここ東京で開催し、ご参会の皆様とご一緒できますことを私はとても喜んでおります。

ロータリーの会員増強は私の父がロータリアンになって以来、韓国では非常に重要な課題となっています。その頃の韓国は、今と違って、経済も弱く、多くの国民は非常に貧しい状態でした。

当時、韓国の地域社会にはいろいろなニーズがあり、また、それらは重大な問題を持っておりました。そして、ロータリーの存在感は、今と違って、とても小さいものでした。

私の父は、私よりずっと以前に、ロータリアンであり、地区ガバナーでした。父は、韓国は大きな可能性を秘めている国であり、ロータリーは韓国のために偉大な可能性を持ち、輝かしい未来をもたらすと思っておりました。

父は、また、韓国が、ロータリーの助けによって、強力で倫理性豊かな経済をもつ国になると感じておりましたが、当時のロータリアンは、その必要を充たすには、余りにも少ない数でした。

このことから、私は地区ガバナーになったとき、私の最優先事項の１つは、韓国のロータリーを発展させることでした。そこで、私は、ロータリアンの皆さんに、それぞれのクラブに新会員を勧誘する新しい方法とその実際の進め方を考えるようお願いしたのです。

私は、ロータリアンの皆さんに、まず、ロータリーの目的が何であるかを問い、それぞれのクラブがより強力な奉仕活動を行うためにどうするかに焦点を当てるようお願いしたのです。

私は、ロータリアンの皆様の反応に心を打たれました。一年間で、韓国ロータリーは実質的な成長を遂げ、クラブの数も多くなり、クラブ自体も大きくなり、強いクラブとなりました。多くのロータリアンが地域社会での奉仕活動に参加し、地域社会も住みやすくなりました。

私の父が地区ガバナーをしたときから何年も経過しました。現在の韓国は以前とは異なる国であり、その変化をもたらしたのはロータリーであったと私は考えます。しかし、韓国は、さらに尚ロータリーを必要としております。どの国にもロータリーが必要なのです。また、多くの国々は貧困や疾病との戦いを続けています。

多くの家庭は、今なお、極貧生活を余儀なくされ、膨大な数の幼児が死んでゆきます。

本ロータリー年度､私たちは｢夢をかたちに｣をテーマとしました。私は、世界各地のロータリアンの皆様に、大変な問題となっている幼児の死亡率に焦点を合わすようお願いしております。

と申しますのは、2008年７月７日の今日、この近代文明社会において、５歳以下の子どもたちが、一日に２万6000人も死んで行くのです。この数字は、明日も明後日もです。

どうにもならないのでしょうか。

これらの殆どは避けられるはずの原因による死亡なのです。それらの原因の殆ど全ては、ロータリーによって３つの強調事項となっている水、健康と飢餓、そして、識字なのです。

私たちは、これらの分野において、すでに、長年に亘って、現在も、多くのことを実行しております。私は、最近の幼児の死亡率の減少は、或程度までロータリーのお蔭であると信じております。

私は信じます。もっと多くの数のロータリアンがおれば、私たちはもっと多くのことが出来、もっと多くの命を救い、もっと多くの子どもたちを助け、もっと多くの夢を形にすることが出来ると確信いたします。

ちょうど今こそロータリーが韓国で発展するのにもってこいの時期であるように、今は世界中でロータリーが発展するのにもってこいの時

期なのであります。世界中の子どもたちが、今日、ロータリーを必要としているからです。

世界中の子どもたちは、明日もロータリーを必要とし、明後日も、また、次の日も、次の日もロータリーを必要としているのです。

今日ここにいらっしゃる私たちロータリアンの一人一人は、そのことを銘記する責任を持っています。

私たちは、ロータリーが継続して自分たちの地域社会のニーズに対応し、健康と希望をもたらすよう見張っていく責任があります。私たちは、どのようにして、その責任を全うするのでしょうか？

私たちは、会員増強について従来の考え方を変えることによってその責任を全うするのです。過去においては、しばしば、会員増強は二次的な問題と見做されてきました。

確かに、以前には、クラブの2,3人だけが新会員の勧誘に積極的でしたし、新会員の維持には誰も時間を割くことはなかったのです。

以前には、会員増強は、もっと緊急な関心事項の脇に追いやられていたのです。会員の減少が始まりますまで、誰も会員増強に注意を向けておりません。

長年に亘って、今のところ、国際ロータリーの会員数は同じレベルであり、120万人強であります。

ロータリーの会員数は増加していませんが、世界のニーズは増加しています。このような増加してゆくニーズのペースに対応するには、もっと多くのロータリアンを必要としますし、もっと多くのクラブも必要です。

だから、私は、このロータリー年に野心的な目標を掲げました。それは全ての地区において、ネット10%増の会員増強のお願いです。そして、一つの地区で最低２つの新クラブを結成していただきたいのです。

若し、それぞれの地区でこのことに挑戦していただければ、このロータリー年度末には、130万人のロータリアンで３万3000以上のクラブとなりましょう。

どうすれば、私たちはこのことを達成できるでしょうか？私たちがしなければならないのは、単に彼等がやってくるのを待つのでなく、ロータリアンにふさわしい会員を探し出すことです。

地域社会ではどこでも、私たちは、彼等が自分たちと違っているという単純な理由で、ロータリアンにふさわしい人たちを見逃しているのです。

その人たちは、年齢も職業も違っているかも知れません。その人たちは、違った背景を持つ人々とか、または、別の地域出身者かも知れません。しかし、これら全てのことは、その人々をお誘いする一層重要な理由にもなるのです。

もしも、ある人がロータリアンとして相応しいとしても、あなたのクラブには適さないという気がするときには、再考の余地がありましょう。

その人々があなたのクラブに何をもたらすか？　あなたのクラブに今はないどのような技能・才能を彼はもたらすか？　その人がどのようにして「夢をかたちに」する手助けが出来るのか？

あらゆるゾーンで、あらゆる地区で、子どもの命を救うという私たちの目標成就のためにもっと多くのロータリアンが必要なのです。なぜならば、あらゆる地域社会で私たちの助けを必要とする子どもたちがいるからです。

私たちの仕事は共同作業であり、一つのクラブは他のクラブと助け合って必要を充たすのです。私たちの仕事は、『夢をかたちに』することなのです。私たちは、安全で幸せな子供たち

ー末永く健康な生涯を送る子どもたちー　という夢を現実のものに転換するのです。

なぜならば、世界中の子どもたちは私たちの子どもだからです。私たちの仕事は、その子どもたちみんなに健康と希望をもたらすことです。

だが、このことは、よく出来る素晴らしい会員の十分な人数があって初めて可能なのです。そのような会員を発掘することこそ私たち一人ひとりに課せられた責任ではないでしょうか。

ご静聴有り難うございました。

邦訳：前 RI 理事　渡辺 好政

●●●● 会員増強月間に因んで ●●●●

Make Dreams Real「夢をかたちに」

クラブが主役、あなたが主人公

会員増強部門委員長
大杉　能弘

８月は会員増強月間です。各クラブ会長様は既に地区協議会や、セミナーなどでクラブの会員増強に取り組む為の勉強をされて来ました、そして会員増強目標も明確に示された事と思います。今年度 RI 会長は**「夢をかたちに」**とテーマを出され、今年度岩渕ガバナーは各クラブ**純増５％**を目標にして下さいと申されております。

又かながわ湘南 RC,大阪ネクスト RC のように R 財団を中心としローターアクト、Rotex,米山学友などを含めた青年を中心としたクラブの結成を図りたいと言われております。各クラブも多くの学友をお世話されて来た事と思いますので是非その方々にもお声がけ頂き会員の増強に繋がるべくご協力をお願い致します。そして是非全てのクラブが**RI 会長賞に挑戦**して頂き一つの目標としてクラブの活動が活発に行われますよう期待致します。地区会員増強委員会と致しまして各クラブに卓話や情報の提供をさせて頂きますので是非お声がけ下さいます様お待ちしております。

７月７日世界に先駆けて日本を訪問されました李東建 RI 会長は、基調講演でこの近代文明社会に於いて５歳以下の子供達が一日に２万6000人も亡くなって行く事に対して死亡率の低下を上げています。３つの強調事項となっています水、健康と飢餓、そして識字を上げていますが、もっと多くの数のロータリアンがおれば、私達はもっと多くの事が出来、もっと多くの命を救い、もっと多くの子供達を助け、もっと多くの夢を形にする事が出来ると確信すると申されています。その「夢をかたちに」する為にも多くの仲間が必要なのです。そしてクラブ会長の増強に対する熱意と、リーダーシップで会員を巻き込んで取り組みをされれば必ず目標は達成されますので頑張って頂きたいと思います。

ロナルド L ビュービン RI 会員増強、会員維持委員長は先ず今から変わること「チェンジ」する事が大切であり何時までも古い考えをしている事が恐ろしい事であると言われました。そして先を見据えた考えと一体感のある団体活動を目指してほしいと申されました。

６地区６クラブの実例発表でも地域社会奉仕活動を積極的に行い地域との関わりを持ち広報活動を行って例会に友人、知人を連れて行き会員増強に結びつけた実例報告もありました、増強目標期間を設けて毎月一度ロータリー情報勉強会を実施され会員の維持は新会員のフォローが大切であるとも申されておりましたので是非実施して頂きたいと思います。

今年度も RI 会長賞として小規模クラブの表彰制度がありますので是非**10名未満のクラブが10名以上に達した場合、10名から14名のクラブが、15名以上に達した場合、15名から19名のクラブが20名以上に達した場合**、期間は７月１日会員数に対して09年４月30日会員数として RI 会長表彰を受けられますので是非達成出来るよう取り組みをして頂きます事をお願い致します。**RI がクラブとして認めております20名に達するよう**中、長期計画を立てて頂きクラブ運営やクラブ活性化の為に努力して頂きたいと思います。

８月は会員増強月間ですが毎月が増強月間と思いクラブ会長を中心に是非**「夢をかたちに」**致しましょう。

国際大会報告

ロサンゼルス国際大会推進委員長
森田　武司

LA・2008「スターに会いに行こう」のテーマで開催されたロサンゼルス国際大会は、6月15日～18日の4日間ロサンゼルスのコンベンションセンターにおいて開催され、大勢のロータリアンとロータリーファミリーに多くの感動と友情を分かち合いながら成功裡に終わる事が出来ました。

開会式前日の14日の夜には、毎年我が2770地区の恒例となっているガバナーエレクト激励会及びガバナーご苦労さん会がキョウト・グランドホテルで開催され、180名を超える大勢の皆さんの参加を頂いて盛大に行なう事ができました。将に我が地区の勢いを感じさせる素晴らしさであり真に感謝に堪えません。

そしてMake Dreams Real「夢をかたちに」の年度テーマと共に、来るべき新年度の岩渕均ガバナーエレクトの活躍に、大きな期待を込めた声援と励ましが送られ、併せて一年間に亘りROTARY　SHARS「ロータリーは分かちあいの心」のテーマと共に、素晴らしい活躍と指導を頂いた中村靖治ガバナーの慰労会も盛大に行なう事が出来ました。

今回の国際大会推進にあって最も心配した事は、度重なるオイル価格の高騰を始め、バイオ燃料がらみの穀物価格の高騰、ガソリンや食料品など全ての価格の上昇に併せてサブプライムローンに発した世界経済の低迷など、我々ロータリアンの台所を直撃する経済不況の真っ只中の世界大会であり、更には5月22日～24日にかけて、韓国3750地区との友好20周年記念式典が200名以上の参加を頂いて韓国済州島で開催されたばかりであり、今回のロサンゼルス国際大会へのご理解と熱意ある大勢の皆さんの参加には、本当に頭の下がる思いであります。

私も11日に日本を立ちサンフランシスコを経て13日にロスに入り、午前中にコンベンションセンターの登録会場に行った時に、思いもよらぬ事がおきました。先ず最初に出合った人がウイルキンソンRI会長でした。一瞬我が眼を疑いました。二人目に会った人が我が地区の財団トラスティ田中作次PG夫妻でありました。そして登録会場に入り三人目に会った人が、つい先日韓国済州島でお会いしたばかりのRI理事エレクト李PG夫妻でありました。将に国際大会ならではの感動の連続でありました。

そして今回特に特筆すべきは、エレクト激励会に先立ち八潮RCと浦和北RCの合同例会が同じ会場のキョウト・グランドホテルで、多くのロータリアンの参加の下に、ラビンドラン財団トラスティの素晴らしい卓話を交えて開催されたことであります。

終わりに、ロサンゼルス国際大会で「ロータリーの心を分かちあった」皆さん方の温かいお力添えに、心から感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

奉仕プロジェクト部門社会奉仕委員会

ブライダル委員会･ブライダル･コーディネーター委嘱状授与式

2008年～2009年度　ブライダル委員会委員長　青木清二郎（八潮中央ＲＣ）

毎年年度が始まる前に行われている。コーディネーター11名皆様に対する委嘱状授与式が、６月26日（木）浦和ロイヤル・パインズホテルに於いて岩渕ガバナー・大塚ガバナーエレクト（奉仕プロジエクト部門委員長）大宮社会奉仕部会長・2007年～2008年度・斉藤ブライダル委員長、ブライダル委員会委員の皆さんの出席で開催されました。

岩渕均ガバナーのご挨拶永年に渡るご苦労に対する御礼と今年も宜しくお願いしますとの挨拶で始まり、大塚信郎奉仕プロジェクト部門委員長の挨拶、そして、大宮英男社会奉仕部会長の挨拶の後、コーディネーターお一人お一人に記念品と共に委嘱状をお渡ししました。

コーディネーターを代表して田中倭文子様から、お礼のご挨拶を頂きました。

岩渕ガバナー、来賓の皆様に、コーディネーターの紹介・委員会委員さんの紹介の後、斉藤前年度ブライダル委員長の音頭で乾杯。食事会が始まりました。最近の若い人の結婚に対する考え方など、ご苦労話を懇談の中でお話して頂き、短い時間ではありましたが、和やかに出来て良かったと思いました。その、ご苦労に報いる為にも、多くのカップルが誕生する事を願っています。地区ロータリアンの皆様の推薦をお待ちしております。

お忙しい中、ご出席頂いた皆様に感謝と御礼を申しあげます。

事務局研修報告

地区会計　小泉　勝暉（浦和 RC）

岩渕ガバナー年度スタート４日目、梅雨の蒸し暑い７月４日午後３時よりロイヤルパインズホテル４階（ロイヤルクラウン A）にて2770地区総勢78名の事務局員研修会が始まる。

地区研修リーダーの関口博正パストガバナーが事務局員の笑いをさそう挨拶を、そしてエレクトの大塚信郎氏のまじめな挨拶をいただき地区役員の一部を紹介。

岩渕ガバナーより地区運営方針（2008～2009年度国際ロータリーおよび第2770地区の活動内容）を11項目に分けて報告。

宮澤地区幹事より事務手続について各事務局員にお願いをし、本年度の研修はクイズ方式で本番が始まる。

ガバナー自身が作成した３択問題41問を15分間で……

全問正解はいなかったが、38問正解が２名、37問正解が５名。さすがロータリーの様々な手続き等をこなしながら得る知識を会得しているのには感心した。

質疑応答、休憩後、懇親会に入る。

78名全員が自己紹介。慣れた事務局員はガバナーに“公式訪問○月○日宜しくお願いします～”と言って岩渕ガバナーは予定表に目を走らせることも何回かあった。

食事をしながら外に出て子供に携帯で食事の指示している人も何人かいましたね。この方達がロータリーの基礎を支えている人々だと思うと、大変頼もしく感じたのは私だけだろうか？

連 載

ロータリーの職業倫理訓逐条解説（２）

職業倫理委員長　青木　伸翁

第１条　自分の職業に価値を認め、これにより自分は社会に奉仕すべき好個の機会を与えられたものと考うべきこと

職業に貴賤なしとよく言われますがこの世の中に無用な職業はないはずです。ワシントンのホワイトハウスに大統領を訪ねてきた秘書が広間に入ろうとすると、廊下の隅でゴシゴシと靴を磨いている男がいました。何気なくその側を通りぬけようとして、アッと驚きました。リンカーン大統領が自分の靴を磨いていたのです。「大統領、そのようなことをなさるのを人に見られると具合が悪うございます」秘書は、思い切ってそう言いました。するとリンカーンは人なつっこい窪んだ目に微笑を浮かべながら「ほう、靴磨きは恥ずかしいことなのかね。そりゃ少し違ってやしないかな。大統領も靴磨きも同じく世のため、人のために働く公僕だ。この世の中に卑しい職業というものはないはずだ。ただ心の卑しい人はいるものだがね」リンカーンはどこまでも朗らかでした。秘書の差し出す重要書類を取り上げ、靴を磨いていた時と同じような熱心さでそれを読みはじめたということです。

自分の職業は世のため、人のために、すべての行動が宇宙（神）の秩序体系の中で行われていると考えることが大切です。宇宙（神）の秩序体系ということは、社会の機能と考えていいのではないでしょうか。つまり社会の機能の中で自分の職業の位置づけをすることです。そうすると職業すなわち奉仕となるわけです。

次回９月号は

第２条　自分の身を修め、自分の実力を涵養し、自分の奉仕を広めるべきこと、並びにそれを通じて、奉仕に徹する者に最大の利益あり（最も良く奉仕する者最も多く報いられる）とするロータリーの基本原則を実践すべきこと。

公式訪問が始まりました！

吉川 RC　公式訪問レポート

７月９日（水）に2770地区最初の公式訪問が行なわれました。岩渕ガバナー、宮澤地区幹事、染谷第10グループガバナー補佐の出席のもと懇談に始まり、例会ではガバナー、地区幹事の引継ぎ式が行なわれました。例会、クラブ協議会を通して、ガバナーは子どもの死亡率低下について真剣に、そして熱く語られ１年間の意気込みを感じました。

また我がクラブは吉川と吉川イブニングが今年度より合併し「新生　吉川ロータリークラブ」となりました。それに関しては喜ばしいことであり、望ましいこと、いっそうのクラブの活性化を期待しますと激励されました。沢山のことを学んだ貴重な１日になりました。

ロータリー財団

世界平和フェローシップ 670,713.36＄

田中作次
（八潮）
平成20年７月９日

大口寄付 21,455＄ ベネファクター(28)

森田武司
（大宮北東）
平成20年７月９日

大口寄付 17,000＄

細谷卓良
（春日部）
平成20年７月４日

M･P･H･F(8) ベネファクター(6)

小畑正勝
（鴻巣水曜）
平成20年７月１日

大口寄付 12,000＄

山田誠治
（春日部）
20年７月４日

M･P･H･F(4)

三輪昭彦
（春日部）
平成20年７月４日

M･P･H･F(4)

長谷川廣良
（越谷南）
平成20年７月15日

M･P･H･F(3)

山下廣美
（越谷南）
平成20年７月15日

M･P･H･F(2)

馬場知行
（鴻巣水曜）
平成20年７月１日

M･P･H･F(2)

鈴木拓雄
（桶川）
平成20年７月９日

M･P･H･F(1)

村山勝正
（桶川）
平成20年７月９日

ベネファクター

小島喜久雄
（春日部）
平成20年７月４日

米山奨学会

米山メジャードナー(L-72)

田中作次
（八潮）
平成20年７月９日

米山メジャードナー(L-25)

森田武司
（大宮北東）
平成20年７月９日

米山功労者(L-４)

山田誠治
（春日部）
20年７月４日

米山メジャードナー(L-1)

小畑正勝
（鴻巣水曜）
平成20年７月１日

米山功労者(M-5)

長谷川廣良
（越谷南）
平成20年７月15日

米山功労者(M-3)

間室照雄
（鴻巣水曜）
平成20年７月３日

米山功労者(M-2)

鈴木拓雄
（桶川）
平成20年７月９日

新会員

石垣正順
（栗橋）
平成20年７月１日入会
深廣寺
仏教（浄土宗）

田村盛良
（久喜菖蒲）
平成20年７月１日入会
㈱内田電気商会
電気工事

石塚　昭
（大宮北東）
平成20年７月２日入会
㈲謙心
運送業・倉庫

小島康幸
（大宮北東）
平成20年７月２日入会
㈲小島ウィンドー
商業施設デザイン・設計・施工

保住敏雄
（さいたま中央）
平成20年７月３日入会
埼玉県民共済生活協同組合
共済組合

柳下竜介
（草加中央）
平成20年７月３日入会
㈲T･R 並木建設
土木工事業

遠山浩人
（越谷南）
平成20年７月７日入会
コージン商事
不動産賃貸業

齋藤守毅
（大宮）
平成20年７月９日入会
㈲太盛
サービス/旅行・運輸/廃棄物収集運搬

小沢　孝
（大宮西）
平成20年７月14日入会
㈲さいたま造園
造園業

中本国勝
（大宮西）
平成20年７月14日入会
東日本旅客鉄道㈱
旅客鉄道業

連載 第二回 ロータリー情報ニュース

“夢をかたちに”を実現するには仲間を増やそう！

ロータリー情報委員長　瀧田　和雄

2008～'09李　東建RI会長は表記の「夢をかたちに」をテーマとして掲げられました。そしてそのターゲットを子供の死亡率の低下をクラブと地区の奉仕プロジェクトの最重要目標とするよう要請されました。それは世界中で5歳未満の子供たちが毎日3万人、多岐の理由で命を落としているからであります。病気、伝染病、栄養失調など、その多くは衛生的な水が入手できないことにあります。我々2770地区のロータリアンはこの問題とどのように取り組んで行くべきでしょうか。これらの子供たちが我々同様、立派に成人して社会に貢献することができるようにするために、何をすべきか皆さんと考えて行きたいと思います。

ロータリーの目的は「超我の奉仕」であることは言うまでもありません。一方、地域社会に対して、或いは世界に向けての「目に見える奉仕活動」も重要な課題であります。最近頓(とみ)に「広報活動の重要性」がRIからも、地区からも発信されてきております。最終目的は「超我の奉仕」であることは他言を待ちませんが、世間から、身の回りの社会からその貢献活動に関心を持っていただくことも大切な課題であり、引いては会員増強の有効な手段になることは言うまでもありません。

できるだけ多くの市民が関心を持って参加できる奉仕プロジェクトを、あなた方のクラブの・地区の・RIのリソース（財源・知恵）を有効に生かして立ち上げてみてください。そして参加する喜びを、そして成功した感激を出来るだけ多くの市民とともに分かち合っていただきたい。それが次に繋がるポイントになるのではないでしょうか。ロータリー家族とは将にこうした活動から広がって行くのではないかと信じております。

新しい年度が始まり、各クラブの皆さんはそれぞれ多くのプログラムを計画されておられます。最終的に、奉仕活動も広報活動も出来るだけたくさんの財源と知恵と人的労力を要するものであります。クラブが充実した満足のゆく奉仕活動をする根本は矢張り多くの会員の力であります。クラブの発展は一人でも多くの会員とロータリー家族の参加です。

友達を作ろう！共に喜びを味わうために。

地区大会に参加しよう

2008～'09年度
国際ロータリー第2770地区

地区大会のご案内

夢をかたちに

2008年11月15日（土）・16日（日）
大会会場／さいたま市文化センター

ホストクラブ：浦和ロータリークラブ
コ・ホストクラブ：浦和東RC、浦和南RC、
浦和中RC、浦和ダイヤモンドRC

大会コンセプト

1．会員はもとより参加者全員が楽しめる大会の開催
2．地域市民の人達にも参加をいただき、より広くロータリーを理解していただくための大会の開催

ルバン派で、その教義は資本主義経済とマッチしている。

勤勉、節約、蓄財に励み、その成果を社会に還元するのを人生の目的としているから、カトリック国のイタリー、フランス、スペインの人達とは違っている。

イギリス国王ヘンリー8世は熱心なカトリック支持者だったが、ローマ法王が彼の離婚を認めないことから、分派行動を起こし、イギリス国協会を樹立した。

カトリックでは、夫と妻は神の結んだ男女として離婚を認めないばかりか、王位継承権は正統な夫婦の間に生まれた子にしか与えなかった。自分の息子に王位を継承させたかったヘンリー8世は努力したけれど、中々王子が生まれず、カトリックから分離した後やっと生まれた王子は夭折してしまった。離婚出来ない為に殺してしまった王妃の娘エリザベス1世が次の王位に即いたのは有名な話である。

かくて良く判らない事情で誕生したイギリス国教会は教義も儀式もカトリックのままだったので、次第にプロテスタント的になって行ったが、物足りなく感じる信者も多かった。その中で最も過激だったグループがピューリタンと呼ばれ、日本では清教徒と訳された。もっとピュアになろうと言う意味だが、純粋とはカルバン派に近いことになる。

彼等はイギリス国教会の現状に飽き足らず、アメリカに移って新天地を開き、後から来る者の為に父祖の役を果たそうとした。それが、「巡礼者の父達」の意である。

何事でも熱が入り過ぎるとバランス感覚が崩れる如く、折角同じ気持ちで出帆したメイフラワー号も2派に分裂した。イギリス国教会内の改革派と分離独立派に分かれたが、狭い船内で衝突が起こると殺し合いになりかねないので、メイフラワー号の盟約を結んだ。かつて個人の政治及び宗教の自由を認めたと誤解されたが、実際は「船の中では政治と宗教の話をしない」約束だった。

船がニューイングランドのマサチューセッツに着いて、宗論禁止の約が解けた途端、2派は分裂して改革派はマサチューセッツに住み、独立派は移動した。

ポールの祖父母が居たバーモンド州はマサチューセッツから分かれたので、どちらの派の子孫だったかは判らない。メイフラワー号の後にも、ヨーロッパ各地から種々のキリスト教各派がアメリカ大陸に来たが、出身地から出て来た事情、つまり多数派に追出されて来たにもかかわらず、アメリカでは少数派を排除したので、各宗派毎に集合生活を営むことになった。この分裂した団体が各州の母体になって行く。

心の狭い宗教的観念を離れた勤勉、節約、蓄財さらに社会還元、即ち奉仕がポールの言う古い倫理と言うことになる。

WIKPEDIAより流用

ロータリーエッセイの予定

(1) ポールへの興味
(2) メイフラワー号とハリス家の関係
(3) 独立戦争前後と宗教的不寛容排除
(4) ゴールドラッシュとポールの母方祖父
(5) 南北戦争と戦争絶対反対
(6) 大膨張時代とポールの青春遍歴
(7) ロータリアンへの教訓
(8) ポールがロータリーに求めたもの
(9) シカゴでの弁護士生活
(10) ポールのミドルネーム
(11) エマソンの思想とロータリー
(12) ポールの性格
(13) アメリカ史の魅力

ロータリーエッセイ

(2) メイフラワー号とハリス家の関係

浦和ロータリー・クラブ　矢作　好英

私が創始者ポール・パーシー・ハリスについて書くのは3回目だが、彼の著書や研究者の作品が沢山ある訳ではないから、3回共同じ内容にならざるを得ない。

2002年クラブ会長の時には、目新しい事柄ばかりを読み、そのままストレートに記述しただけである。つまり目から入って、口や手に伝わったのである。

2005年クラブ情報委員長の時には、他の書籍から得た知識と混合させて話すことができる様になった。例えば、ポールが5年間の青春遍歴をした時代のアメリカ社会を連想し、彼が何を見、何を考えたかを推測出来た。

2008年、つまり今回「ガバナー月信」と言う重大記録に加わることによって、3回目の見直しをする機会を得たが、混合した物が発酵して来たのを感じている。例を挙げると、ポールが中途退学を繰り返した原因は何か、更にその原因が彼の人格形成にどんな影響を与えたか、その結果がロータリーの信条にどんな形で残っているか等について、考慮する余地が生まれた。私の得た結論が正しいか、どうかについて興味のある人達と語り合うのも楽しい作業である。

ポールの伝記を読むと、先祖に関する記事がほとんどない。彼自信余り触れず、先祖は1620年メイフラワー号でイギリスからアメリカに渡って来た「ピルグリムファーザーズ」の一人としか語らなかったという。伝記執筆者は「ハリス姓はスコットランドに多いしポール自身スコットランドを愛好していたから、そこからイギリスに来たのだろう」としか記していない。

我々が日本で出版されている歴史上の人物に関する本を見ると、自称公称を含めて家柄、血筋を克明に調査している事が多い。豊臣秀吉の様に調べようもない人物も居るが、大体は先祖に触れている。本人理解の為に家柄や環境は必要と言う観念が日本にはあるが、民族の坩堝たるアメリカには通用しないのかも知れない。

ポールが生まれたのが1868年だから、メイフラワー号より250年弱しか経っていない。ポールが育てられた祖父から見ると、メイフラワー号は200年位、世代にして6～7世代である。メイフラワー号に乗っていたのは108人、大西洋を数ヶ月の旅だから、マサチューセッツの古い教会を調べれば、ポールの先祖の名もその子孫の系図も判る筈である。伝記作家が調査しない事項を今更私が実践しても仕方がないので、以上の事だけを頼りにポールの思考を探って行きたい。

ポールは、「ロータリーの目的は古い倫理の確立」と書いている。彼は思想家ではないし、宗教家でもないから、自らの倫理観を樹立させようとはせずに、良きアメリカ人社会の通念を基準にしたのである。彼が人格形成で強い影響を受けたのは父方の祖母と言われている。彼は後に書く事になる事情で、父母と別れて祖父母と生活をするに至る。小学校低学年で生まれ故郷を離れ、バーモント州で暮らし始めた。

バーモント州はアメリカ東部地区でカナダ国境に近い所だから、この地域の人達はピューリタン的宗教心を強く持っていたと思われる。

カトリック教会のローマ法王支配に反対する熱心なキリスト教徒は、ローマ法王を仲介としない神やキリストとの直接対話を目指して、プロテスタントになった。

色々な宗派が生まれたが、主なものはルター派とカルバン派である。最もカトリックと離れているのがカ

2008～2009年度　国際ロータリー2770地区

地区大会 ポリオ撲滅記念

ゴルフコンペのご案内

日　　時　平成20年９月29日（月曜日）［雨天決行］
（スタート時間・組合せは登録受付後、後日送付致します。）

募集人数　各クラブ４名（地区役員を含む）

開催コース　大利根カントリークラブ　東・西コース（貸切）
茨城県坂東市下出島10　　TEL　0297－35－1344

登 録 料　クラブ負担金　　10,000円
個人登録料　１名　5,000円

登録申込み　個人参加者を登録申込書にご記入の上、FAX にてお申込み下さい。
登録申込み及び登録料のお振込は８月10日迄に必着でお願いします。

プレー費　プレー費は個人精算です。約18,000円位
［グリーンフィ・食事代（飲物及び指定外のメニューは別途精算）・キャディフィ・諸経費込み］
※急なご欠席で３名プレーになるとき、キャディフィの変動がありますので予めご了承下さい。

尚、ご不明な点がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

《連絡先》　**地区大会記念ゴルフ実行委員会**
（浦和北ロータリークラブ事務局内）
TEL 048－813－8075　　FAX 048－813－8076
E-MAIL　office@urawakita-rotary.jp

ご 案 内

地区大会記念ゴルフ大会実行委員長
細　川　　章

地区大会行事の一環として恒例の記念ゴルフコンペを左記の通り開催いたします。参加者の皆様には、会員相互の親睦を目的として当日は楽しい一日をお過ごしいただけます様、実行委員会一同最善の努力をいたす所存でございます。

大変ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加くださいます様、宜しくお願い致します。

文庫通信（250号）

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、２万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。　以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報より（１）

◎「**韓国のロータリー現況**」　李　東均　2008　8ｐ
（第９回 ROTARY 日韓親善会議報告書）
◎「**韓日新世代交流プログラムの昨日、今日、そして明日**」　禹　鳳濟　2008　4ｐ
（第９回 ROTARY 日韓親善会議報告書）
◎「**ロータリーを支えよう－真心込めて**」　四津谷仁朔　2008　6ｐ
（絆（Ⅳ））
◎「**世界はあなたを待っている**」　関場慶博　2007　5ｐ
（第12回ロータリー青少年交換研究会長崎会議報告書）
◎「**価値ある増強**」　井上瑛夫　2008　5ｐ（D.2680月信）
◎「**ロータリーの神髄**」　深川純一　2008　12p（D.2680月信）
◎「**職業宣言**」　鈴木政昭　2008　2ｐ（D.2800月信）
◎「**2680地区2007～2008年度ロータリー財団セミナー**」　松下　衛　2007　10p（D.2680月信）

［上記申込先：ロータリー文庫（コピー／PDF）］

ロータリー文庫
〒105-0011　東京都港区芝公園２－６－15
黒龍芝公園ビル３Ｆ
TEL（03）3433-6456　　FAX（03）3459-7506
http：//www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後５時
休館＝土・日・祝祭日